

# 第五十九回 帝國議會貴族院 地租法案特別委員會議事速記錄第十五號

昭和六年三月二十七日(金曜日)午前十時

二十九分開會

○委員長(伯爵柳澤保惠君) 御著席ヲ願ヒ

マス、是ヨリ委員會ヲ開キマス

○公爵一條實孝君 私ハ議事進行ニ付テ發言ノ御許シヲ願ヒタイト思ヒマス、承リマス所ニ依リマスト、研究會ハ昨日御態度ガ

御決定ニナリマシタサウデアリマス、討論ニ入りマスニ先立ッテ先ヅ研究會ノ皆様ノ

御答ヲ私ハ得タイト思ヒマスガ、我、二十一名、委員長ヲ除イテ二十六名ノ委員ハ、約十五日間ニ瓦ツテ諸案ニ對シテ慎重ニ審議ヲ進メテ來タノデアリマス、愈々本日ハ之ヲ判定シナケレバナラナイコトニナッタノデアリマスルガ、大體今日迄ノ私ガ探り得マシタ委員諸君ノ御考ヲ見マスルト、必ズシモ政府原案ニ贊成シテ居ル方バカリデモナイ、又反対ヲシテ居ル方バカリデモナ

イヤウニ思ヒマス、サウスレバ研究會ハ約十人……約デハナイ、十人ノ委員ヲ茲ニ御持チニナッテ居ル、其御方ノ態度ガ一團ニナッテ贊成トカ反対トカニ決リマスト云フト、

我ミガ幾ラ名論卓說ヲ出シマシテモ詰リ研究會ノ方ニ引摺ラレル、斯ウ云フコトニナ

ルト思ヒマス、私ハ委員會ノ性質ハ斯ノ如キモノデハナイト思ヒマス、二十七名モ多數ノ委員ガ此審議ヲシテ居ルナラ、各ミガ矢張リ純正ナル立場ニ於テ判断シタコト

ガ、此委員會ニ反響シナケレバ何ニモ役ニ立タヌト思ヒマス、研究會ノ個人々々ノ御意見ハ私ハ茲ニ發表スルコトハ差控ヘマス

ガ、少クモ研究會ノ總會ニ於テ昨日原案贊成、原案反對ト云フ投票ヲ伺ヒマスト、原案贊成ノ方ハ七十四人、反對ノ方ガ六十一人、斯ウ云フヤウナ極メテ「デリケート」ナ數字ニナッテ居ルノデアリマスカラ、是ガ委員會ニ反響シ、更ニ本會議ニ反響シテコソ、

○公爵一條實孝君 御返事ガナケレバ致シ方ガアリマセヌ

○委員長(伯爵柳澤保惠君) ナイモノト思ヒマス、是ヨリ討論ニ入リマス

○森田福市君 討論デスカ

○委員長(伯爵柳澤保惠君) 討論ニ入ルノ

私ハ始メテ貴族院ノ總意ト云フモノガ現ハ

レルモノト思フノデアリマス、然ルニ此委員會ニ於テ研究會ヲ除イタル諸君ノ數ガ約半々ト申スベキ私ノ觀察ニナッテ居リマスニ拘ラズ、研究會ガ或ハ反対ニ一團ニナナル、ソレデハ我ミガ十五日間何ヲシテ居タル、ソレデハ我ミガ十五日間何ヲシテ居タル、ソレデハ我ミガ十五日間何ヲシテ居タル、

タノカ譯ガ分ラヌノデアリマス、此點ニ付テ研究會ハ委員會ニ於テモドコ迄モ減税

改正其他ノ改正案デアリマスガ、大體政府ハ本案ヲ以テ減税案ト稱シテ國民ニ宣傳シ、而シテ之ヲ又委員會ニ於テモドコ迄モ減税

デアルカノ如キ答辯ヲ以テ臨マレタノデアリマスガ、過去十四日間慎重審議、所謂質問應答ノ結果ニ於キマシテハ、此案ハ決シテ減税ニ非ズシテ増税デアル、差引ノ結果ニ於テ地方稅ヲ加ヘタナラバ當然增税ニ相成

成ルモノデアルト云フコトハ最早明瞭ニナッテ議論スル餘地ガナイト考ヘマス、從ツテ

此原案其モノニハ絶對ニ反對スルモノデアル、之ヲ明カニ致シテ置キマス、唯原案ニ反對スルノニ付テ之ニ原案ニ修正ヲ加ヘ

テ……何レ修正ノ動議ガ出ル筈デアリマス、修正シナケレバ本案ハ通スベカラズ、

從ツテ原案ノ儘デ此案ヲ通スコトハ出來ナイ、ナゼドノ點ガイケナイカト云フコトヲ簡

單ニ申述ベテ置キマスト、倫敦條約ニ依ツテ生ジタル剩餘金ヲ以テ國民ノ負擔ヲ輕減シ

テヤルト云フコトハ、前議會以來屢々、政府當局ガ仰シヤッタコトデアリマス、又答辯ノ

際ニモ屢々繰返サレタコトデアリマス、然ルニ今回御出シニナッタ所ノ山林ハ差引ニ

於テ御承知ノ通り五万六千有餘圓ノ增稅ニナッテ居リマスカラ、是ハ減税トハ申サレマ

セヌ、田畠租ニ於テ約千五百万圓ノ減稅ニナッタ、此點ハ我ミハ賛成スル者デアリマ

ス、サウシテ此宅地租ニ於テ差引五百四十万二千圓ト云フ增稅ニ相成、テ居リマス、

即チ今回ノ此地租法ノ改正ニ依ル増減ノ結果ハドウナルカト云フト、田畠租ニ於テ

千五百万圓、而シテ山林ニ於テノ增稅ガ五

万六千圓、宅地租ニ於テ差引増稅ガ五百四十五万二千圓、即チ二種ニ於テ減稅ヲ行ヒ二種ニ於テ増稅ヲ行ヒ居ルノデアリマス、然ルガ爲ニ今回我ミガ主張シテ居ル點ハ増稅ヲナス時期デハナイ、減稅ハ誠ニ宜シイ、時宜ニ適シテ居ルノデアル、併シ今日ノ場合ニ於テ此不況ノ時代ニ、此國民ノ收入ノ少イ時代ニ於テ增稅ヲスベキ性質ノモノデナイト云フコトヲ屢々繰返スケレドモ、當局ハ決シテ增稅デハナイ、負擔ノ均衡ヲ圖ルト云フ文字デ現ハレタルモ、增稅……增減ノ結果ニ現ハレタル數字ニ依ッテ、其結果ニ於テ大藏大臣モ御認メニナツタ通りニ、増稅ト云フコトガ明カニナツテ來テ居ルノデアリマス、從テ此地租ノ五百四十五万二千圓ノ増稅ヲ内譯ラシテ見ルナラバ、市部ニ於テ六百一万圓ノ増稅ニナルノデアリマス、此六百一萬圓ノ増稅ヲスウ云フ機會ニヤルベキモノデハナイ、即チ負擔ノ均衡ヲ圖ルト申シテモ、明治初年以來慣レ來テ居ル、地租ヲ此場合増稅スルコトハ、即チ地主及借地主、或ハ借家主ノ負擔ノ增加ヲスルコトデアルカラ、此場合此增稅ハ思ヒ止マルベキモノデアル、原案ヲ決シテ此儘過セシムベキモノデハナイ、減稅ヲ其儘ト

シ、増稅トナルベキ山林ノ增稅ト、宅地租ノ増稅ヲ、之ヲ認メザルト云フノガ我ミノ方針ナノデアリマス、從テ或ハ政府ハ、此財源ノコトニ付テ私ハ餘り深ク言ヒタクナイケレドモ、此結果ニ於テ山林ノ増稅ト、宅地租ノ増稅ヲ合セテ見ルト、此增稅ガ約六百七万圓デアル、此六百七万圓ノ増稅ヲドウ云フ風ニスルカト云フト、此機會ニ増稅ヲ行ハズニ取り止メルトシテモ、政府ノ從來ニ於ケル財源ノ捻出ニハ左程困難デナイヤウニ見エルノデアリマス、私ガ屢々質問ノ機會ニ於テ申上ゲタ通り、官吏ノ俸給ノ増減ノ結果ニ現ハレタル數字ニ依ルト、此處ニ参考資料トシテ御出中ニアル所ノ、此處ニ参考資料トシテ御出シニナツタ表ニ依ルト、毎年賞與金ガ六千四百万圓乃至六千七百万圓ノ間ヲ上リ下リシテ居ルコトハ、決算ノ上ニ現ハレテ居テ明瞭デアリマス、即チ今日此不況ノ際ニ、銀行、會社、商店ノ從業員ガ何レモ賞與八半額若クハ皆無ノ所ガ多イ場合ニ、官吏ノミ額が現在ノ俸給ニ有リ付イテ居ル上ニ、六千四五百萬圓ト云フ地租ノ全額ヲ以テモ尙ホ苦勞ヲ相懸ケタ云フコトヲ御託致シテ置キマス。

○馬場鍊一君 本員ハ原案ニ賛成スルモノデアリマス、尙ホ原案ニ賛成シマスルガ、別ニ希望的ノ決議ヲ附帶セシメタイト考ヘルノデアリマス、此場合簡單ニ希望的附帶決議ノ趣旨ヲ申述べタイト存ズルノデアリマス、地租法ノ制定ノ結果、色々ノ御議論ハアリマスルケレドモ、兎モ角モ千万圓ノ金ヲ使ヒ、二年有餘ノ歲月ヲ費シテ全國的ニ實地價格ヲ調査シ、訴願訴訟等マデナシテ、質貸價格ナルモノガ決定シ、勿論此貧

餘裕ハ、地租及山林ノ增稅ヲ行ハズトモ生ジテ來ルノデアリマスルカラ、此意味ニ於テ我ミハ此原案ニハ絶對ニ反對スル者デアルコトヲ明カニ申シテ置キマス、詳細ハ本會議ニ讓リタイト思ヒマス、從テ此討議ニ置クノデアリマス、尙ホ私ハ一言委員各位ニ御断リシテ置キマスノハ、連日質問ヲ致シマシテ、委員各位ニ御迷惑ヲ相懸ケタコトヲ、眞ニ恐縮ニ存ジテ居リマス、ドウカ惡シカラズ御諒承ガ願ヒタイ、政府各位ニ對シテモ、屢々質問ヲ致シテ、御手數ヲ相懸ケマシタル段モ、此機會ニ於テ、一言御苦勞ヲ相懸ケタ云フコトヲ御託致シテ其結果如何ニモ都市ニ付テハ三倍八割ニ止メラレテ居ルケレドモ、ソレニシテモ尙且ツ相當激ナ增加ガ宅地租ニ付テハ起シテ來タノデアリマス、是ハ誠ニ納稅者ニ取テハ負擔ノ上ニ苦痛ヲ感ズルト云フコトデアラウト存ジマス、ノミナラズ元來地租ナルモノハ、言フマデモナク直接歸著ヲナスペキ直接稅デアリマスルケレドモ、或ハ之ガ地代ノ騰貴ヲ促シ、延イテ家賃ノ騰貴ヲ來スト云フヤウニナリマスルト云フト、之ガ爲ニ所謂市ノ住民、中小產業者等ニモ相當ノ困惑ヲ來サシムル所ノ虞モナイデモナ

イノデアリマス、殊ニ況ヤ今日ノ如キ經濟界ノ情勢ニアリマシテハ、誠ニ此爲ニ一般ノ者ニ迷惑ヲカケルト云フコトハ可ナリ困タコトデアリマシテ、此負擔ノ急激ナル増加ヲ今日ノ場合ナスト云フコトハ私ハ妥當ナリトハ認メナイノデアリマス、併ナガラ此貨貸價格ノ調査ヲ致シタ結果、負擔ノ如何ニモ不權衡デアタモノガ直ルト云フコトト、又之ニ依テ、兎モ角モ少ナシト雖モ田畠其他ニ付テノ減税ガ出來ルト云フコトデアルノデアリマスルカラ、私ハ此點ニ付テ今日ノ場合之ヲ忍バナケレバナラスト思フノデアリマス、唯併シ此宅地租ノ負擔ノ急激ナル増加、今日ノ財界、是ト考ヘ合セ、又今日ノ財界ハ必シモ急速ニ直ラウトモ思ハヌノデアリマスルノデ、本年度ハ既ニ豫算モ決定シマシテ、茲ニ財源ヲ見出スコトモ我ミトシテハ出來ナイノデアリマスカラ、幸ニ來年度ニ於テ、稅制ノ調査ヲ分ニ一ツ研究ヲセラマシテ、此宅地租ノ急激ナル増加ヲ緩和スルト云フコトニ付テ、何カ適當ナル方法ヲ講ジテ戴キタイト云フコトガ第一點デアリマス、即チ行政整理其他ニ依テ適當ナル財源ヲ發見セラレ、此地租法ノ根本ヲ動カス趣意デハアリマセ

スルト云フコトハ、政府ニ於テ努メテ戴キタノデアリマス、ソレガ第一點デアリマス、第二點ハ政府ハ今日ニ於テ、勿論地方財政ノ監督ヲ必シモ寛ニシテ居ルトハ思ハヌケレドモ、併ナガラ我ミカラ見ルト、尙ホ地方財政ノ監督ニ付テ一層嚴重ニセラルベキガ必要デアラウト思フノデアリマス、即チ地方費ハ、或ハ恐ル、動トモスルト不急不要ノ事業ヲ爲サム限リハナイノデアリマス、故ニ出來ルダケ地方財政ノ監督ヲ嚴重ニセラレテ、地方費ノ膨脹ヲ避ケルト云フコトガ、先ヅ第一ニ望マシイノデアリマス、故ニ出來ルダケ之ヲ防止セラレルコトヲ望ムノテ更ニ增加セムトスル所ノ附加稅ノ增徵ハ出来ルダケ之ヲ防止セラレルコトヲ望ムノデアリマス、若シ已ムヲ得ズシテ宅地租ノ增加ヲ必要トスル場合ニ於イタナラバ、之デ、政府ノ承認ヲ受ケルヤウニ致シ、又宅地附加稅ヲ増徵スルヤウナ場合ニ於テハ、出來ルダケ必ズ他ノ附加稅、即チ所得

税附加稅、或ハ營業稅附加稅、或ハ家屋稅ト云フヤウナモノノ輕減ヲ爲スコトニ努メラレ、又茲ニ段別割等モ是モ十分ニ御考慮ニナッテ、斯様ナル附加稅ノ、不都合ナル附スガ、宅地租ノ負擔ノ急激ナル増加ヲ緩和ルニ此宅地租ノ急激ナル増加ヲ出來ルダケ緩和セラルルダケノ方法ヲ地方財政ノ監督ノ上ニ十分注意セラレテ地方財政ノ指導ヲ爲サレムコトヲ望ムノガ第一點デアリマス、第三點ハ今回海軍縮會議ノ結果トシマシテ國庫ノ剩餘金ヲ生ジタ其一部ヲ以テ減稅ニ充テタノハ、其減稅ノ金額誠ニ小ナリト雖モ、今日ノ一般ノ輿論ニ副ウタ點ニ於テハ我ミハ誠ニ結構ト思フノデアリマス、唯其金額ノ少キヲ憾ミトスルノデアリマス、併ナガラ海軍縮減餘金ノ一部ヲ割イタノデアリマスルガ、海軍大臣並ニ總理大臣等ノアリマスルガ、海軍大臣並ニ總理大臣等ノ御説明ヲ承テモ、海軍ノ世間デ言フ所謂第二期ノ補充計畫……私共ハ之ヲ第二期補充出來ルダケ之ヲ防止セラレルコトヲ望ムノナリマセヌガ、兎モ角第二期的補充計畫トモ申スベキモノガ今日確定的ノモノハナイニシテモ、昭和十一年度以前ニ於テ何等カ艦艇ノ補充其他ニ於テ着手シナケレバナラヌト云フコトダケハ、是ハ政府ガ明瞭ニ言ハレテ居ルノデアリマス、此所謂第二期海軍補充計畫ノ費用ト云フモノガ今日ニハ無論考ヘラレテナインデアル、此點ハ我ミ國防ニ付テ常ニ憂慮スル者カラ言ヘバ誠ニ心配

成タノデアリマス、ソレ故ニ私ハ地租法案及明治四十一年法律第三十七號中改正法律ノ點ニ付テハ論究シナイト云フコトニ相成タノデアリマス、ソレ故ニ私ハ地租法案及明治四十一年法律第三十七號中改正法律ノ點ニ付テハ論究シナイト云フコトニ相

案、大正十五年法律第二十四號中改正法律案ヲ除キマシタ他ノ諸案ニ付テハ賛成ヲ表シマス、殘ル所ハ地租ニ關聯シタ所ノ法律案ノ三件デアリマス、之ニ付キマシテハ私各法案ノ事情、今日ノ實際ノ經濟上ノ状態及ビ此法律案ノ各條項ニ向テ慎重ニ研究ヲシテ見タノデアリマス、私ハ大體ニ於テ衆議院ヲ通過シタ案ハ成ルベク手ヲ染メヌト云フコトヲ常ニ主義トシテ居ルノデアリマス、併シ此三案ニ對シマシテハ如何ニモ今日ノ時世ニ於テ默視シテ居ルコトガ出来ヌト云フ風ニ考ヘマシタ故ニ、止ムヲ得ズ茲ニ修正案ヲ提出セネバナラヌコトニ相成シタノデアリマス、此修正ノ條項ハ未ダ印刷ニ付シテ廻ツテ居ラヌカモ知レマセヌガ、自分ノ修正條項ハ極メテ簡単デアリマスルカラ只今申上ゲマス、第一地租法案ニ付キマシテハ第十條ニ斯ウ云フ修正ヲ加ヘタイノデアリマス、原案ニハ「地租ノ稅率ハ百分ノ三・八トス」、ソコニ但書ヲ加ヘル、「但シ宅地ニアリテハ百分ノ三・二トス」「但シ宅地ニアリテハ百分ノ三・二トス」、是ガ修正ノ一箇條デアリマス、ソレカラ其法案ノ九十條、即チ附則ニ付キマシテハ斯ウ云フ風ニ修正ヲシタイノデアリマス、原案ヲ讀ミマス「本法ハ昭和六年四月一日ヨリ之ヲ施

行ス、但シ昭和六年分地租ニ限り第十條ノ規定中百分ノ三・八トアルハ百分ノ四」云々「百分ノ三・二」ト云フ改正案デアルノヲ之ヲ「百分ノ三・二」ト改メルノデアリマス、ソレ同條第二號中「宅地地租百分ノ二十八分ノ百二十一」ト改メルノデアリマス、ソレは國稅ニ關スル地租法ノ修正デアリマス、次ニ地方稅ニ關スル法案ニ付キマシテモ同ジク修正ヲ加ヘル意見ヲ持シテ居リマス、明治四十一年法律第三十七號中改正法律案ニ付テ斯ウ云フ修正ヲシタノデアリマス、「第一條第一號中「宅地地租百分ノ三十」、「第一條第一號中「宅地地租百分ノ八十三」ヲ「地租百分ノ二十八」ニ改メルト云フノガ政府ノ原案デアリマス、茲ニ「百分ノ八十二」ト云フノガ政府ノ原案デアリマス、茲ニ「百分ノ八十二」トアルノヲ六」斯ウ云フ風ニ改メルノデアリマス、其次百分ノ二十八其ノ他ノ土地地租百分ノ九十分ノ二十八其ノ他ノ土地地租百分ノ九十六」トアルノヲ直シマシテ「宅地地租百分ノ二十八其ノ他ノ土地地租百分ノ九十六」ト改メルト云フノデ、原案ニハサウ云フ風ニナッテ居ルノデアリマス、後ノ此「六十六」ヲ「九十分ノ六十六」ヲ「百分ノ九十六」ニ改メルト云フノデ、原案ニハサウ云フ風ニナッテ居ルノデアリマス、ソレカラ附則ノ六」ト改メルノデアリマス、是ガ特別地稅ニ關シマスル法律案ノ修正デアリマス、大體修正ノ條文ハ只今申シマシタ通リデアリマス、其理由ヲ簡單ニ説明イタシタイト思フノデアリマス、要スルニ只今舉ゲマシタ簡條ハ國稅地租並ニ地租附加稅ノ課率ヲ改メタニ過ギナイノデアリマス、何故ニ此課率ヲ改メタカト云フコトニ付キマシテ、是ヨリ要ヲ摘シテ申上ゲマス、此度ノ地租法ノ改正ト云スルガ、北海道府縣以外ノ公共團體ニ對スル第四項」トアルノデアリマスルガ、修正ヲ致シマスニ付キマシテ、附則ノ「第二項ヲ削除シタカラ、是ハ當然ノ結果トシテ「第三項」ト相成ルノデアリマス、是ガ明治四十年法律第三十七號中改正法律案ノ修正デアリマス、次ニハ大正十五年法律第二十四號中改正法律案、是ガ所謂地方稅ノ特別稅ト

○伊澤多喜男君 宜シウゴザイマス  
○水野鍊太郎君 ソレカラ其同ジ條ニ「百分ノ八十二」ト云フ改正案デアルノヲ之ヲ「百分ノ百二十一」ト改メルノデアリマス、ソレ同條第二號中「宅地地租百分ノ二十八分ノ百二十一」ニ改メルト云フノガ政府ノ原案デアリマス、其ノ他ノ土地地租百分ノ六十六」ヲ「地租百分ノ六十六」ニ改メルト云フノガ政府ノ原案デアリマス、其ノ他ノ土地地租百分ノ六十六」ヲ直シマシテ「宅地地租百分ノ二十八其ノ他ノ土地地租百分ノ九十六」ヲ「百分ノ九十六」ニ改メルト云フノガ政府ノ原案デアリマス、之ニ對シマシテ「貨貸價格ノ百分ノ三・六」ト改メルノデアリマス、是ガ特別地稅ニ關シマスル法律案ノ修正デアリマス、大體修正ノ條文ハ只今申シマシタ通リデアリマス、其理由ヲ簡單ニ説明イタシタイト思フノデアリマス、要スルニ只今舉ゲマシタ簡條ハ國稅地租並ニ地租附加稅ノ課率ヲ改メタニ過ギナイノデアリマス、何故ニ此課率ヲ改メタカト云フコトニ付キマシテ、是ヨリ要ヲ摘要シテ申上ゲマス、此度ノ地租法ノ改正ト云スルガ、北海道府縣以外ノ公共團體ニ對スル第四項」トアルノデアリマスルガ、修正ヲ致シマスニ付キマシテ、附則ノ「第二項ヲ削除シタカラ、是ハ當然ノ結果トシテ「第三項」ト相成ルノデアリマス、是ガ明治四十年法律第三十七號中改正法律案ノ修正デアリマス、次ニハ大正十五年法律第二十四號中改正法律案、是ガ所謂地方稅ノ特別稅ト

称スルモノニ關スル法律デアリマス、此法律ニ付キマシテハ一部ダケヲ變ヘルノデアリマス、即チ「第三條第一項ヲ左ノ如ク改ム」ト致シマシテ、「特別地稅ノ賦課率ハ貨貸價格百分ノ三・一以内トス」トアルノヲ、「三・一」ヲ「四・五」ト改メルノデアリマス、ソレカラ第四條ノ第一項ニ「地價百分ノ二・九」ヲ「貨貸價格百分ノ一・五」ニ改メルト云フノガ政府ノ原案デアリマス、之ニ對シマシテ「貨貸價格ノ百分ノ三・六」ト改メルノデアリマス、是ガ特別地稅ニ關シマスル法律案ノ修正デアリマス、大體修正ノ條文ハ只今申シマシタ通リデアリマス、其理由ヲ簡單ニ説明イタシタイト思フノデアリマス、要スルニ只今舉ゲマシタ簡條ハ國稅地租並ニ地租附加稅ノ課率ヲ改メタニ過ギナイノデアリマス、何故ニ此課率ヲ改メタカト云フコトニ付キマシテ、是ヨリ要ヲ摘要シテ申上ゲマス、此度ノ地租法ノ改正ト云スルガ、北海道府縣以外ノ公共團體ニ對スル第四項」トアルノデアリマスルガ、修正ヲ致シマスニ付キマシテ、附則ノ「第二項ヲ削除シタカラ、是ハ當然ノ結果トシテ「第三項」ト相成ルノデアリマス、是ガ明治四十年法律第三十七號中改正法律案ノ修正デアリマス、次ニハ大正十五年法律第二十四號中改正法律案、是ガ所謂地方稅ノ特別稅ト

體ノ趣旨トシテハ贊成スルノデアリマス、此減稅ノ財源ニ付テハ不安ナキニシテモ非ズデアルノデアリマス、不安ハ持シテ居リマスケレドモ、ソレハ別ト致シマシテ、兎ニ角政府ガ國民ニ對シテ租稅ヲ減ジヤウ、私ハ其趣旨ニ付キマシテハ誠ニ時宜ニ適シタルモノデアルカラ、是ハ假令多少ノ法ニ不備ガアツテモ贊成ヲシタイト思フノデアリマス、其大體ノ趣旨ニハ贊意ヲ表シマス、但シ地租法竝ニ之ニ伴フ地方稅賦課ノ法律ヲ檢討シテ見マスルト、驚クベキコトガアルノデアリマス、今日減稅ト云フコト、國民ノ負擔ヲ減少スルト云フコトハ、固ヨリ異議ノナイコトデアリマスルガ、ソレニ反對ニ國民ノ負擔輕減ニナラズ、却テ增稅トナルト云フコトニ相成リマシテハ、是ハ深ク深ク考ヘネバ相成ラヌノデアリマス、倫敦條約ノ結果ト致シマシテ海軍ノ建造競争ヲヤラヌ、同時ニ國民ノ負擔ヲ輕減シヤウト云フ趣旨ハ尤モナコトデアリマス、ハザルモノアルヲ見出スノデアリマス、即チ減稅ニ非ズシテ、増稅デアルト云フコトデアルナラバ、國民負擔ノ輕減ニハナラナイ、但シ全體ヲ通シテ見マスレバ成程減稅ニハナリマス、ソレカラ又地價ヲ貨價價格

ニ改メタノデアリマスルカラ、其結果トシテ宅地租ト田畠租トノ間ニ變動ヲ生ジ、宅地租ニ付テハ增稅トナリ、田畠租ニ付テハ減稅トナルト云フコトハ、是ハモウ算盤ノ上ニハサウ云フコトガ出テ來ルノデアリマス、故ニ政府ノ原案ガ全ク不理窟トハ申シマセヌ、併ナガラ此增稅ヲ爲スト云フコトニ付テハ、今日ノ社會狀態、今日ノ經濟界ノ事情等モ深ク考慮セネバ相當ナル斟酌リマス、之ヲ考慮シテソコニ適當ナル斟酌ヲ加ヘルト云フコトハ、唯算盤ノ上ノミカルノデアリマス、今日減稅ト云フコト、國民ノ負擔ヲ減少スルト云フコトハ、固ヨリ異議ノナイコトデアリマスルガ、ソレニ反對ニ國民ノ負擔輕減ニナラズ、却テ增稅トナルト云フコトニ相成リマシテハ、是ハ深ク深ク考ヘネバ相成ラヌノデアリマス、倫敦條約ノ結果ト致シマシテ海軍ノ建造競争ヲヤラヌ、同時ニ國民ノ負擔ヲ輕減シヤウト云フ趣旨ハ尤モナコトデアリマス、ハザルモノアルヲ見出スノデアリマス、即チ減稅ニ非ズシテ、増稅デアルト云フコトデアルナラバ、國民負擔ノ輕減ニハナラナイ、但シ全體ヲ通シテ見マスレバ成程減稅ニハナリマス、ソレカラ又地價ヲ貨價價格

ニ改メタノデアリマスルカラ、其結果トシテ宅地租ト田畠租トノ間ニ變動ヲ生ジ、宅地租ニ付テハ增稅トナリ、田畠租ニ付テハ減稅トナルト云フコトハ、是ハモウ算盤ノ上ニハサウ云フコトガ出テ來ルノデアリマス、故ニ政府ノ原案ガ全ク不理窟トハ申シマセヌ、併ナガラ此增稅ヲ爲スト云フコトニ付テハ、今日ノ社會狀態、今日ノ經濟界ノ事情等モ深ク考慮セネバ相當ナル斟酌リマス、之ヲ考慮シテソコニ適當ナル斟酌ヲ加ヘルト云フコトハ、唯算盤ノ上ノミカルノデアリマス、今日減稅ト云フコト、國民ノ負擔ヲ減少スルト云フコトハ、固ヨリ異議ノナイコトデアリマスルガ、ソレニ反對ニ國民ノ負擔輕減ニナラズ、却テ增稅トナルト云フコトニ相成リマシテハ、是ハ深ク深ク考ヘネバ相成ラヌノデアリマス、倫敦條約ノ結果ト致シマシテ海軍ノ建造競争ヲヤラヌ、同時ニ國民ノ負擔ヲ輕減シヤウト云フ趣旨ハ尤モナコトデアリマス、ハザルモノアルヲ見出スノデアリマス、即チ減稅ニ非ズシテ、増稅デアルト云フコトデアルナラバ、國民負擔ノ輕減ニハナラナイ、但シ全體ヲ通シテ見マスレバ成程減稅ニハナリマス、ソレカラ又地價ヲ貨價價格

ニ改メタノデアリマスルカラ、其結果トシテ宅地租ト田畠租トノ間ニ變動ヲ生ジ、宅地租ニ付テハ增稅トナリ、田畠租ニ付テハ減稅トナルト云フコトハ、是ハモウ算盤ノ上ニハサウ云フコトガ出テ來ルノデアリマス、故ニ政府ノ原案ガ全ク不理窟トハ申シマセヌ、併ナガラ此增稅ヲ爲スト云フコトニ付テハ、今日ノ社會狀態、今日ノ經濟界ノ事情等モ深ク考慮セネバ相當ナル斟酌リマス、之ヲ考慮シテソコニ適當ナル斟酌ヲ加ヘルト云フコトハ、唯算盤ノ上ノミカルノデアリマス、今日減稅ト云フコト、國民ノ負擔ヲ減少スルト云フコトハ、固ヨリ異議ノナイコトデアリマスルガ、ソレニ反對ニ國民ノ負擔輕減ニナラズ、却テ增稅トナルト云フコトニ相成リマシテハ、是ハ深ク深ク考ヘネバ相成ラヌノデアリマス、倫敦條約ノ結果ト致シマシテ海軍ノ建造競争ヲヤラヌ、同時ニ國民ノ負擔ヲ輕減シヤウト云フ趣旨ハ尤モナコトデアリマス、ハザルモノアルヲ見出スノデアリマス、即チ減稅ニ非ズシテ、増稅デアルト云フコトデアルナラバ、國民負擔ノ輕減ニハナラナイ、但シ全體ヲ通シテ見マスレバ成程減稅ニハナリマス、ソレカラ又地價ヲ貨價價格

ニ改メタノデアリマスルカラ、其結果トシテ宅地租ト田畠租トノ間ニ變動ヲ生ジ、宅地租ニ付テハ增稅トナリ、田畠租ニ付テハ減稅トナルト云フコトハ、是ハモウ算盤ノ上ニハサウ云フコトガ出テ來ルノデアリマス、故ニ政府ノ原案ガ全ク不理窟トハ申シマセヌ、併ナガラ此增稅ヲ爲スト云フコトニ付テハ、今日ノ社會狀態、今日ノ經濟界ノ事情等モ深ク考慮セネバ相當ナル斟酌リマス、之ヲ考慮シテソコニ適當ナル斟酌ヲ加ヘルト云フコトハ、唯算盤ノ上ノミカルノデアリマス、今日減稅ト云フコト、國民ノ負擔ヲ減少スルト云フコトハ、固ヨリ異議ノナイコトデアリマスルガ、ソレニ反對ニ國民ノ負擔輕減ニナラズ、却テ增稅トナルト云フコトニ相成リマシテハ、是ハ深ク深ク考ヘネバ相成ラヌノデアリマス、倫敦條約ノ結果ト致シマシテ海軍ノ建造競争ヲヤラヌ、同時ニ國民ノ負擔ヲ輕減シヤウト云フ趣旨ハ尤モナコトデアリマス、ハザルモノアルヲ見出スノデアリマス、即チ減稅ニ非ズシテ、増稅デアルト云フコトデアルナラバ、國民負擔ノ輕減ニハナラナイ、但シ全體ヲ通シテ見マスレバ成程減稅ニハナリマス、ソレカラ又地價ヲ貨價價格

デアラウト云フ考ヲ持チマセウケレドモ、ソレハイカヌカラ増税ニナラヌ程度ダケニ止メテ置カウト云フコトデアリマスレバ、都會ノ人モ私ハ満足スルダラウ、是ハ何トシテモ適切ナ方法デヤナイカト思フノデアリマス、デ財源ハドウスルカト云フコトニナルト、財源ト言シテモ僅カナモノナンデス、國稅ダケニ付テ申シマスレバ僅カ六百万圓位ダサウデアリマスガ、此財源位ハ政府ガ本當ニ眞剣ニ此問題ヲ御考ヘニナレバ私ハ出來ナイコトハナイト思フ、一々私ハレドモ、六百万圓、年ニ六百万圓位ノ稅源ハ無イ、コトハナイト思フノデス、先程モ森田君ガ言ヒマシタガ、假リニ申シマスレバ今日官吏ノ俸給總額ハ二億幾ラデアリマスカ、二億七八千万圓アリマスガ、其中賞與トシテアルノガ六千七百萬圓トカデアリマスガ、是ハ昭和三年四年ガサウデアリマス、五年六年モ同ジク其位デアリマス、デ官吏ノ賞與ヲ減スト云フヤウナコトハ私ハ情ニ於テハ忍ビナインデアリマスガ、今日ノ事情カラ申シマスレバ、一割位減ラサレテモ宜シクハナイカト思フ、六千万圓ノ一割ナラバ六百万圓デアリマス、二割ナラバ二千二百万圓、此位ノコト

ハ今日ノ財政窮乏ノ際、殊ニ經濟界變動ノ際ニ、此位ノ辛棒ハシテ貰ハナケレバナラヌ、又政府當局トシテモ其處ニ想ヒヲ致サレルベキモノニアラウト思ヒマスカラ、是シテモ適切ナ方法デヤナイカト思フノデアリマス、デ財源ハドウスルカト云フコトニナルト、財源ト言シテモ僅カナモノナンデス、國稅ダケニ付テ申シマスレバ僅カ六百万圓位ダサウデアリマスガ、此財源位ハ政府ガ本當ニ眞剣ニ此問題ヲ御考ヘニナレバ私ハ出來ナイコトハナイト思フ、一々私ハレドモ、六百万圓、年ニ六百万圓位ノ稅源ハ無イ、コトハナイト思フノデス、先程モ森田君ガ言ヒマシタガ、假リニ申シマスレバ今日官吏ノ俸給總額ハ二億幾ラデアリマスカ、二億七八千万圓アリマスガ、其中賞與トシテアルノガ六千七百萬圓トカデアリマスガ、是ハ昭和三年四年ガサウデアリマス、五年六年モ同ジク其位デアリマス、デ官吏ノ賞與ヲ減スト云フヤウナコトハ私ハ情ニ於テハ忍ビナインデアリマスガ、今日ノ事情カラ申シマスレバ、一割位減ラサレテモ宜シクハナイカト思フ、六千万圓ノ一割ナラバ六百万圓デアリマス、二割ナラバ二千二百万圓、此位ノコト

ハ今日ノ財政窮乏ノ際、殊ニ經濟界變動ノ際ニ、此位ノ辛棒ハシテ貰ハナケレバナラヌ、又政府當局トシテモ其處ニ想ヒヲ致サレルベキモノニアラウト思ヒマスカラ、是シテモ適切ナ方法デヤナイカト思フノデアリマス、デ財源ハドウスルカト云フコトニナルト、財源ト言シテモ僅カナモノナンデス、國稅ダケニ付テ申シマスレバ僅カ六百万圓位ダサウデアリマスガ、此財源位ハ政府ガ本當ニ眞剣ニ此問題ヲ御考ヘニナレバ私ハ出來ナイコトハナイト思フ、一々私ハレドモ、六百万圓、年ニ六百万圓位ノ稅源ハ無イ、コトハナイト思フノデス、先程モ森田君ガ言ヒマシタガ、假リニ申シマスレバ今日官吏ノ俸給總額ハ二億幾ラデアリマスカ、二億七八千万圓アリマスガ、其中賞與トシテアルノガ六千七百萬圓トカデアリマスガ、是ハ昭和三年四年ガサウデアリマス、五年六年モ同ジク其位デアリマス、デ官吏ノ賞與ヲ減スト云フヤウナコトハ私ハ情ニ於テハ忍ビナインデアリマスガ、今日ノ事情カラ申シマスレバ、一割位減ラサレテモ宜シクハナイカト思フ、六千万圓ノ一割ナラバ六百万圓デアリマス、二割ナラバ二千二百万圓、此位ノコト

ハ今日ノ財政窮乏ノ際、殊ニ經濟界變動ノ際ニ、此位ノ辛棒ハシテ貰ハナケレバナラヌ、又政府當局トシテモ其處ニ想ヒヲ致サレルベキモノニアラウト思ヒマスカラ、是シテモ適切ナ方法デヤナイカト思フノデアリマス、デ財源ハドウスルカト云フコトニナルト、財源ト言シテモ僅カナモノナンデス、國稅ダケニ付テ申シマスレバ僅カ六百万圓位ダサウデアリマスガ、此財源位ハ政府ガ本當ニ眞剣ニ此問題ヲ御考ヘニナレバ私ハ出來ナイコトハナイト思フ、一々私ハレドモ、六千万圓ノ一割ナラバ六百万圓デアリマス、二割ナラバ二千二百万圓、此位ノコト

ハ今日ノ財政窮乏ノ際、殊ニ經濟界變動ノ際ニ、此位ノ辛棒ハシテ貰ハナケレバナラヌ、又政府當局トシテモ其處ニ想ヒヲ致サレルベキモノニアラウト思ヒマスカラ、是シテモ適切ナ方法デヤナイカト思フノデアリマス、デ財源ハドウスルカト云フコトニナルト、財源ト言シテモ僅カナモノナンデス、國稅ダケニ付テ申シマスレバ僅カ六百万圓位ダサウデアリマスガ、此財源位ハ政府ガ本當ニ眞剣ニ此問題ヲ御考ヘニナレバ私ハ出來ナイコトハナイト思フ、一々私ハレドモ、六千万圓ノ一割ナラバ六百万圓デアリマス、二割ナラバ二千二百万圓、此位ノコト

カ云フモノハ掛ケナイ積リデアル、ソレハ  
一遍決マッタノデアルカラ、ソレ迄ニ考ヲ及  
ボシテ居ラヌト云フヤウナコトモアルノデ  
アリマス、私ハソレハ遺憾ニ思フ、折角サ  
ウ云フモノガ出来ル以上ハ今日是ハ此儘ニ  
通シテ置イテモ、十分ニ其點ニ付テハ親切  
ニ御考ヘニナツテ、他日設ケラルベキ委員會  
ニ付議スルコトガ適當デアラウト思フ、兎  
ニ角今日ノ此法律案ヲ我ミガ之ヲ受取ッテ  
此儘黙ツテ通過スルト云フコトハ如何ニモ  
私ハ國民ニ對シテ不親切ト思フ、其結果ガ  
通ルカ通ラナイカ知リマセヌガ、又研究會  
デ提出セラレタ希望決議ト云フモノハ、希  
望決議ダケデハ足レリトシナインデ、此希  
望決議ヲ法ニ現シタノデアリマスカラ、ド  
ウシテモ斯ウスルノ外ハナイト思フノデア  
リマス、或ハ少數ニシテモ否決セラレマシ  
テモ、少クモ我ミガ是ホドノコトニ付テ今  
日ノ世相ニ鑑ミテ心配ラシテ居ルノデア  
ル、斯ウ云フコトガ國民ニ徹底スレバ宜イ  
ト思フノデアリマスカラ、多數トカ少數ト  
カ云フコトハ我ミハ眼中ニ容レズシテ、此  
案ヲ提出セムトスルニ至ラ次第ナノデア  
リマス、ドウゾ御贊成下サラバ誠ニ幸ヒト  
思ヒマス

○長岡隆一郎君 只今ノ修正説ニ同意ヲ致

シマス、理由ハ時間ヲ節約スル爲ニ省略イ  
タシマス

### ○大橋新太郎君 私ハ先刻一條公爵カラ研

究會ノコトニ付テ御質問ガアリマシタカラ  
ラ、先づ以テ此事ニ付テ先ニ御話ヲシマシ  
テ自説ヲ述べル積リデアリマス、一昨日研  
究會ノ常務委員會並ニ協議員會ヲ開キマシ  
テ、其結果此地租法案ニ付テハ八名ノ小委  
員ヲ舉ゲテ此案ヲ如何ニスルカト云フコト  
ヲ議シタノデアリマス、常務委員カラ青木  
子爵、小松謙次郎君竝ニ小生ガ共命ヲ使ケ  
マシタ、協議員カラハ小笠原伯爵、牧野子  
爵、前田子爵、八條子爵、馬場鍊一君ガ其  
選ニ當ラレマシタ、サウシテ昨朝ノ新聞ニ  
出マシタヤウナ名案ガ出來マシタノデアリ  
マス、私ハ不幸ニシマシテ、其減稅委員會  
ニ對シマシテ可否ヲ述ベマシテハ却テ研究  
會内ノ幹部ノ意見ヲ妨ゲルヤウニナツテハ  
イケマセヌカラ、其小委員會タルコトヲ御  
免蒙シテ辭シタノデアリマス、昨日此處ニ出  
席イタシマスト、盛ニ昨日ノ懇談會ニ於  
テ、昨朝ノ新聞ニ出マシタ研究會ノ幹部ノ  
作成ノ案ニ付テノ御非難ガアリマシタカラ、  
ト借地人及小作人トノ間ニ直ニ紛争ガ起ル  
ト云フコトハ眼ノ前ニ見エテ居ルノデアリ  
マス、斯カル時代ノ惡イ時ニ、地主人、小

ノ形勢モ一應其總會ニ報告イタシマシタ、  
同時ニ其總會ニ於キマシテ、前申シマシタ  
委員諸君ノ御作成ニナリマシタ案ヲ總會  
ニ付シマスト、之ガ否決ニナツタノデアリマ  
ス、而カモ研究會ニ於テハ一々碁石ノ白黒  
ヲ以テ、之ヲ蜂須賀侯爵御監視ノ下ニ投票  
ガ行ハレテ、幹部ノ名案ハ脆クモ負ケタノ  
ヲ議シタノデアリマス、ソコニ於キマシテ私ハ甚ダ法  
員ヲ舉ゲテ此案ヲ如何ニスルカト云フコト  
デアリマス、ソコニ於キマシテ私ハ甚ダ法  
制上ノ知識モ持チマセヌケレドモ、自分で  
デアリマス、ソコニ於キマシテ私ハ甚ダ法  
幹部ノドナタニモ會員ノドナタニモ御諸リ  
申サナイデ一ツノ修正案ヲ出シタノデアリ  
マス、ソレハ此度ノ地租法案ハ賃貸價格ニ  
改メルト云フ案デアルガ、大藏大臣ノ説明  
ヲ聽イテ見レバ、極メテマダ調査ノ好マシ  
カラヌ所ガアル、殊ニ地租ハ日本ノ二千五  
百年ノ歴史ヲ有スル、其國家ヲ維持シタノ  
ハ主モナル財源ハ地租ヲ以テ一千五百年ヲ  
租法改正ニ依テ重稅ニ泣クノデアリマス、  
之ヲ現内閣ハ敵トシテ御扱ヒニナツテモ宜  
イト云フ御決心ガアツタノカナインカ甚ダ  
疑フノデアリマス、同時ニ此地租法改正ノ  
爲ニ其恩典ニ浴スルノハ三千三百四十一万  
ノ農村ノ住民デアルノデアル、而シテ過日  
私ノ請求ニ依リマシテ大藏省ニ御作リ下  
スッタノニ依レバ、平年度ニ於テ地租改正ノ  
結果、國稅竝ニ府縣ノ附加稅、町村ノ附加

稅ヲ集メマシテ、市ト町ノモノガ一箇年ニ  
作人、借地人ノ間ニ紛争ヲ起スヤウナ法案  
ヲ實施スルノハ今日ノ時勢ニ於テ好マシカ  
ラ色々御議論ガアリマス通リニ、今ノ經濟  
界ニ何人ト雖モ、増稅ヲスベキ時デハナイ  
ノデアル、其際ニ而モ苛酷ノ增稅ヲシテ、  
國民ノ一部ハ減稅ニ喜ビ、國民ノ一部ハ重  
稅ニ泣カヌケレバナラヌヤウナ法律案ヲ、  
此場合ニ出スト云フコトハ甚ダ宜シクナイ  
カラ、而モ其國民ノ數ハ、往々新聞ナドニ  
ハ都市ノ少數ナル人ノ爲ニ我ミガ反對ノ議  
論デモ述ベルヤウナコトノ誤解ガ出テ居ル  
ノデアリマス、日本ノ現在ノ、昨年ノ國勢  
調査ニ依リマシテ御調べニナリマシタ市ノ  
人口千五百四十四万、町ノ人口千五百八十  
万人、合セテ三千百万人ノ人間ガ此度ノ地  
租法改正ニ依テ重稅ニ泣クノデアリマス、  
之ヲ現内閣ハ敵トシテ御扱ヒニナツテモ宜  
イト云フ御決心ガアツタノカナインカ甚ダ  
疑フノデアリマス、同時ニ此地租法改正ノ  
爲ニ其恩典ニ浴スルノハ三千三百四十一万  
ノ農村ノ住民デアルノデアル、而シテ過日  
私ノ請求ニ依リマシテ大藏省ニ御作リ下  
スッタノニ依レバ、平年度ニ於テ地租改正ノ  
結果、國稅竝ニ府縣ノ附加稅、町村ノ附加

稅ヲ集メマシテ、市ト町ノモノガ一箇年ニ  
作成ノ案ニ付テノ御非難ガアリマシタカラ、  
ト借地人及小作人トノ間ニ直ニ紛争ガ起ル  
ト云フコトハ眼ノ前ニ見エテ居ルノデアリ  
マス、斯カル時代ノ惡イ時ニ、地主人、小

今迄二千百二十一萬圓ノ負擔ガ、四千九百七十三萬圓ニナッテ、一箇年二千八百五十二万圓モノ増税ヲ此不況ノ際ニ受ケル結果ニナリマスノデアリマス、而シテ農村ハ之ニ反シテ、今迄ノ負擔ガ一億千九百二十萬圓ノモノガ八千万圓ニ附加税トモ減リマシテ、三千九百万圓ノデアリマス、三千九百万圓一方ハ減ジ、一方ハ二千八百五十万圓植エマス、此法案ガ一度此度貴族院ヲ通過シマスレバ、將來革命デモアレバイザ知ラズ永久ニ市竝ニ町ニ住ム三千百万人ノ人間ハ泣カナケレバナラヌノデアリマス、當時ニ農村ノ御方ハソレダケノ恩惠ヲ受ケルノデアリマス、故ニ私ハ色ミノ増税ノ時機デモナイシ、場合デモナイ、昨日研究會ノ席ニ於キマシテ咄嗟ニ考へタノハ、大藏省カラ我ミニ御配付ニナリマシタ此度海軍條約ニ依テ昭和六年度ニ減税ヲナサル金額ハ九百十一萬三千圓デアル、其金額ヲ地租ニ六百七十七萬圓減ジ、營業收益稅ニ百二十一萬圓ヲ減ジ、砂糖消費稅ニ二十二萬圓物消費稅ニ九十一萬圓ヲ減税ナサルト云フ此金額ノ減税ヲ企圖シ、本年度ハ地租條例ヲ改正スルコトヲ止メテ、六百七十七万圓ノ地租ニ對スル減税ノ財源ヲ以テ、現在ノ地租法ニ依ッテ田畠ダケニ之ヲ減税ニ與

ヘテ貰ッテハドウデアラウト云フ修正意見ヲ、昨日ノ研究會ニ動議ニ出シタノデアリマス、甚ダ後進ノ私方幹部ノ承認モ經ズ、投票ノ結果六十何票ノ同意者ガアリマシテ、同僚ノ皆サンニモ何等協議シナインガ、投票ノ結果六十何票ノ同意者ガアリマシテ、シマシテ幹部ノ案ガ昨朝出來マスト、多額納稅者ノ諸君ハ、我ミニハモウ村ニ歸ラレヌカラト云フ騒ギデ、幹部案ト同時ニ私ノ案モ反對ノ運動ヲ受ケタノデアリマス、斯様ナ譯デアリマスカラ、私ハドウモ不幸ニシマシテ說ヲサウ右左ニ巧ニ狂ゲル技術ヲ持チマセヌカラ、昨日總會後ニ幹部ニ向ヒマシテ當務委員ハ御免蒙り、同時ニ言論ノ自筆ノデアリマス

○委員長(伯爵柳澤保惠君) 大橋君ニ伺ヒマスガ御所感モ結構デスガ、地租ニ關スル……

○委員長(伯爵柳澤保惠君) 大橋君ニ伺ヒマスガ御所感モ結構デスガ、地租ニ關スル……

○委員長(伯爵柳澤保惠君) ソレナラバ簡單ニ願ヒマス

○大橋新太郎君 簡単ニ申シマス、徳川三百年ノ此地租ダケデ財政ガ維持サレテ、國家ノ運命ヲ維持シタノハ何デアルカト言ヘバ、私ハ米納ニ依テ此地租ガ出來タカラシニ付キマシテ此地租法ヲ御改正ニナル時ニ相當ノ御考慮ヲナサル値打ノアルモノデナイカト考ヘテ居ルノデアリマス、是デ以テ私ノ演説ハ終リマス(拍手)

○後藤文夫君 私ハ只今ノ修正案ト、馬場サンカラ御提議ニナリマシタ希望決議トニ付テ一二點御尋ヲ致シタイト思フノデゴザイマスガ、宜シウゴザイマスカ

○委員長(伯爵柳澤保惠君) 宜シウゴザイマス

○後藤文夫君 水野サンカラ御提案ニナリマシタ修正案ハ咄嗟ニ伺ヒマシタノデ、細

理會ハ民政黨ノ財政行政ノ整理會ニシナイデ、上下兩院ノ各派ノ代表者ヲ入レテ有效ナルモノニシテ、此處デ以テ此地租法其他ノ重要法案其他ノ稅制モ御改メニナルノガ宜クハナイカト思フノデアリマス、尙ホ此際私ハ今迄述ベマセヌコトヲ一言述ベマシテ自分ノ所感ヲ止メヤウト思フノデアリマス、徳川三百年ノ歴史ガ……

○委員長(伯爵柳澤保惠君) 大橋君ニ伺ヒマスガ御所感モ結構デスガ、地租ニ關スル……

○大橋新太郎君 地租ニ關スル意見ヲ申述ベルノデアリマス

○委員長(伯爵柳澤保惠君) ソレナラバ簡單ニ願ヒマス

○大橋新太郎君 簡単ニ申シマス、徳川三百年ノ此地租ダケデ財政ガ維持サレテ、國家ノ運命ヲ維持シタノハ何デアルカト言ヘバ、私ハ米納ニ依テ此地租ガ出來タカラシニ付キマシテ此地租法ヲ御改正ニナル時ニ相當ノ御考慮ヲナサル値打ノアルモノデナイカト考ヘテ居ルノデアリマス、是デ以テ私ノ演説ハ終リマス(拍手)

○後藤文夫君 私ハ只今ノ修正案ト、馬場サンカラ御提議ニナリマシタ希望決議トニ付テ一二點御尋ヲ致シタイト思フノデゴザイマスガ、宜シウゴザイマスカ

○委員長(伯爵柳澤保惠君) 宜シウゴザイマス

○後藤文夫君 水野サンカラ御提案ニナリマシタ修正案ハ咄嗟ニ伺ヒマシタノデ、細

ハ矢張リ米納デ租稅ヲ御取リナサレバ一番農民モ苦シマズ一番宜イノデアリマス、矢張リ將來私ハ財政調查整理會ガ出來ルナラバ、此租稅ノ點ニ於キマシテ此金納ヲ米納ニスルト云フコトヲ……遅レテ居ルヤウデ

カタ全般ニ亘<sup>シテ</sup>影響ガドウナルカト云フ  
コトヲ判断スル暇ガナイノデアリマスカラ、唯咄嗟ノ質問デ全ク簡単ナ考へ違ヒデ  
アリマスレバ私ノ質問ノ御訂正ヲ願ヒタイ  
ト思ヒマス、ソレハ宅地租ノ増税トナル部  
分ヲ止メテ、其結果附加税ノ制限ヲ原案ニ  
修正ヲ加ヘテ、現在ノ状態ノ儘ニ置カウ、  
斯ウ云フ御趣旨ノヤウニ思ヒマス、サウシ  
マスト附則ノ第三項、四項、五項ハ其儘ニ  
存シテ置カレルト云フ御案ノヤウデアリマ  
スガ、ソレハ尙ホ必要ガアルト云フ御見込  
ミナノデアリマセウカ、又サウスレバドウ  
云フ風ニ運用ヲサレルカト云フ趣旨ナンデ  
アリマセウカ、チヨット分リ兼ネマスル  
ガ……

○水野鍊太郎君 是ハ後藤君ナンカハ最モ  
能ク知<sup>シ</sup>テ居ルコトト思フノデアリマスガ、  
是ハ地方ノ財政ノ上ニ餘リ急激ナ變化ナカ  
ラシムルト云フノデ、五項、六項デスカ、  
斯ウ云フ内容ヲ政府ガ持ヘタノデアリマセ  
ウ、是ハ一應尤ト思フ、此度宅地租ノ附加  
税ガ減ルノデアリマスルカラ、是ハ餘リニ  
ソレ程ノ必要ガナイカモ知レナイノデス、  
デアリマスカラ、場合ニ依<sup>シ</sup>テハ之ヲ消シテ  
宜イカト思<sup>シ</sup>タ、併ナガラ極<sup>シ</sup>僅カデアッテ  
モ或ハ超過シ或ハ減少スルト云フコトヲ調

和シテ行カウト云フナラバ、是モ一つノ方  
法デアラウト云フノデ、此度ノ修正シタ結  
果ガ、之ガ餘リ役ニ立タヌ、ソレ程ノ必要  
ガナイカモ知レマセヌケレドモ、アッテモ害  
ノナイコトデアリマスルカラ、是ハ此儘保  
存シテ置イタラ宜カラウ、併ナガラ皆様ノ  
御意見デソンナモノハ要ラスト云フナラ、  
ソレハ削除ニナル、御修正ニデモナレバソ  
レハ私モ敢テ異議ハナイノデアリマス  
○後藤文夫君 サウシマスト政府ノ方デ  
説明サレタヤウナ趣旨ノ運用ト云フ意味デ  
ナク、何カ用ヒル餘地ガアルカモ知レナイ  
カラ、其場合ニ存シテ置カウト云フ意味デ  
アリマスカ

○水野鍊太郎君 マア大體サウ云フ意味デ  
アリマス  
○後藤文夫君 分リマシタ、尙ホ續イテ伺  
ヒマス、水野サンノ御修正案ノ地租ニ關ス  
ル部分ノコトデアリマスガ、宅地租ノ増税  
ダケハ止メル、其他ノ地租ノ減税ハ原案ノ  
通リニ實行スル、其結果ハ折角負擔ノ公平  
ヲ圖ラウトシタ地租法ノ根本ノ趣旨ニ破壊  
ヲ加ヘルコトニナル譯デアリマスルガ、是  
ハ負擔ノ激増ヲ一部ニ免レシメタイト云フ  
ノダ、ト云フ原則ヲ此處へ立テルコトニナ  
ハ宜シイ、此賃貸價格ヲ課稅標準トシテ地  
租法ノ改正ヲスル、今後ハ我國ノ地租ト云  
フモノハ賃貸價格ヲ以テ課稅標準トスルモ  
スレバ、私ハ格別ノ異存ハナイノデアリマ  
スガ、其點ヲ伺ヒタイ

○馬場鑑一君 私ハ先刻述ベマシタ趣旨ハ  
負擔ノ公正ヲ期スルト云フコトハ固ヨリ結  
構デアリマス、併ナガラ負擔ノ均衡ヲ得ル  
コトニ急ニシテ、其爲ニ或ル納稅者ニ急激  
ナル負擔ヲ増加スルト云フコトハ、私ハ避  
ケナケレバナラヌコトト思フ、現ニ地價ノ  
結果カラ、唯已ムヲ得ナイト云フ譯デゴザ  
イマスガ、或ハ兩者ノ間ノ負擔ノ公正ヲ圖

ルコトニ付テハ又別ニ何考へタガ宜カラ  
ウト云フヤウナ御考ガ潛ンデ居ル譯デアリ  
ガナイカモ知レマセヌケレドモ、アッテモ害  
ノナイコトデアリマスルカラ、是ハ此儘保  
存シテ置イタラ宜カラウ、併ナガラ若シ  
ニ付テ馬場サンニ御伺ヒ致シマス、馬場サ  
ンノ御説明ニ依リマスト、賃貸價格ニ依<sup>シ</sup>テ  
租ヲ微スルト云フ根本ノ趣旨ハ認メルノデ  
アル、併ナガラ何分ニモ賃貸價格ニ依<sup>シ</sup>テ  
負擔ノ公正ヲ圖ル結果ガ宅地ノ所有者ニ增  
稅トナルカラシテ、此增稅ノ苦痛ヲ緩和ス  
ル途ガアレバ緩和ヲシタイモノデアル、ト  
云フ趣旨デ此希望決議ノ第一項ヲ御提案ニ  
ナッタト云フコトデアリマスルガ、若シ此根  
本ノ負擔公正ヲ圖ルト云フ趣旨ハ十分ニ認  
メル、從<sup>シ</sup>テ其實際方法トシテハ賃貸價格、  
現在調査ノ出來テ居ル賃貸價格ニ依ルコト  
ハ宜シイ、此賃貸價格ヲ課稅標準トシテ地  
租ノ上ニ持<sup>シ</sup>テ行<sup>シ</sup>テ宅地租ヲ減ズルノダト  
シタヤウナ趣旨ニ於テ此第一項ノ希望ト云  
フモノガ出來上<sup>シ</sup>テ居ルノデアルト致シマ  
スレバ、私ハ格別ノ異存ハナイノデアリマ  
スガ、其點ヲ伺ヒタイ

○馬場鑑一君 私ハ先刻述ベマシタ趣旨ハ  
負擔ノ公正ヲ期スルト云フコトハ固ヨリ結  
構デアリマス、併ナガラ負擔ノ均衡ヲ得ル  
コトニ急ニシテ、其爲ニ或ル納稅者ニ急激  
ナル負擔ヲ増加スルト云フコトハ、私ハ避  
ケナケレバナラヌコトト思フ、現ニ地價ノ  
結果カラ、唯已ムヲ得ナイト云フ譯デゴザ  
イマスガ、或ハ兩者ノ間ノ負擔ノ公正ヲ圖  
ルト云フ途ハサウ澤山残<sup>シ</sup>テ居ルマイト思  
フ、若シ茲ニ新タニ多クノ財源ヲ得テ更ニ  
三倍八割、即チ賃貸價格ハ三倍八割ニ止メ

<p>タノハ何ノ爲デアルカト言ヘバ、十倍、十五倍ニスル方ガ負擔ノ均衡論カラ言ヘバ宜シイノデアリマス、ソレヲ三倍八割ニ止メタノハ、急激ナル增加ヲ避ケタノデアリマス、其意味ニ於テ私ハ今回ノ宅地租ノ負擔ニ付テ、如何ニモ急激ナ增加ガアルカラシテ、出來ルナラバ之ヲ緩和シテ貰ヒタイ、斯ウ云フ意味デアリマス、即チ假ニ增加ヲスルコトハ宜シトイシテモ、遞増的ニヤッテ、順次的ニ増加スルト云フコトガ私ハ宜カッタノダラウト思フ、本來ナラバ此原案ガサウ云フ遞增主義ニ出來テ居ツタナラバ最モ私ハ理想的デアッタト思フ、ソレガ出來ナカッタノハ遺憾デアル、此意味ニ於テ私ハ七年度以降ニ於テハ出來ルダケ遞増的ノ考ヲテ居ルノデアリマス</p> <p>○長岡隆一郎君 マダ私ハ御議論モゴザイマセウガ、採決ヲ……ハヤ質問ノ際ニ相當意見モ盡シテ居リマスカラ、又本會議デ討論モヤラウト思ヒマスカラ、此程度デ討論ハ打切り採決ニ移ラレムコトヲ希望イタシマス</p> <p>○伊澤多喜男君 私モ水野君ニホンノ一點ダケ御質問ヲ致シタイト思ヒマス、只今宅地租ヲ三・二減スト云フ御修正案ガ出マ</p>	<p>シタ、是ハアレデゴザイマス、田畠ト宅地租ト其外總テ地租ノ標準ヲ三・八ニシタノダケレドモ、是ハ不公正デアル、全體ヲ、總テノモノヲ三・八ニスルノハ公正ノ原則ニ悖ルコトデアル、デアルカラシテ宅地租ハ減ラサナクチヤナラヌ、即チ田畠トノ均衡ノ上カラ考ヘテ斯様ニシナケレバナラヌ、サウ云フ風ニ解釋シテ宜シウゴザイマスカ、ソレカラ専ホ伺ヒマスガ、此御修正ノ結果、當然歲入ハ減リマシテ、豫算ニ影響イタシマスガ、是ハ如何様ニ御處理ナサル御積リデアリマスカ、ソレヲ伺ヒタイ</p> <p>○水野鍊太郎君 其點ハ先程私ハ餘程詳細述べタト思フノデアリマス、地租ノ課稅標準タル地價ヲ賃貸價格ニ直シタト云フ結果、而モ其稅率ヲ三・八ト云フコトニシマスレバ、是ハ宅地竝ニ田畠ヲ通ジテ共通ニ相成ルノデアリマス、而シテ之ヲ共通ニスルコトガトアルト云フノガ大藏大臣ノ説明デ 〔「實行豫算」ト呼フ者アリ〕</p> <p>○水野鍊太郎君 是ハ伊澤君ハ長ク行政官コトシテ居ツテ、サウ云フコトハ疾ウニ知リ抜キマスカ</p>	<p>〔「採決」ト呼フ者アリ〕</p> <p>○伊澤多喜男君 政府ニ伺ヒマスガ、左様ナコトハ出來マスカ、一應私贊否ヲ決スル上ニ伺ツテ置キマス</p> <p>○國務大臣(井上準之助君) 御答ヘ致シマス、昭和六年度ノ九百万圓、其中デ地租ノ六百万圓ノ減稅ハ豫算ノ中ニ這入テ居リマスカラ、此法案ノ關係ニ於キマシテ財源ヲ他ニ求メマスコトハ、昭和七年度ニ於キマシテハ出來得ルト云フ考モツキマシテモ、昭和六年度ノ豫算ノ通過イタシマシタ後ニハ殆ドヤリ様ニ依ツテ不可能ト考ヘテ居リマス</p>	<p>マセウ、アナタモ地方長官トシテ、若クハ臺灣總務長官トシテ之ヲ實行シテ居ル、ソレデスカラ、俸給ノ中カラ賞與……豫算ニハ何ニモ關係ガナイ、年々兎ニ角其位ノモノガ俸給諸給ノ中カラ出テ來ル、其中ノ一ト云フト、私ハ政府ニ於テ相當ニ考ヘレバ出來ルト思フ、今日アナタ賞與トシテ六千萬圓出シテ居ルノデスカラ、此一割減ジタトシテモ六百万圓位出ル、是ハ政府ガ考慮スルコトデスカラ、私共一々ソソンナコトヲ思フ</p> <p>○伊澤多喜男君 豫算ハ既ニ御承知ノ通り決定シテ居リマスガ、ドウシテ是ハ、……是カラシテ今ドウ云フ方法デ之ヲヤッテ行</p> <p>○水野鍊太郎君 伊澤君ガ餘リ白ミシイコトヲ言ウテ大藏大臣ニ問ウタノダガ、大藏大臣ノ御答辯モ餘リニオカシイヤウニ思フ、アナタガデスヨ、昭年五年度ノ豫算ニ</p>
---	---	---	--

<p>缺陷ヲ生ズルノデハナイカ、之ニ付テ不足 ヲ生ズルコトガナイカト言ッタラ、イヤ、ソ レハ賞與ヲ節約シマシテ……官吏ニ與ヘル 賞與ヲ節約イタシマシテ補充シマスト云フ</p> <p>コトハアナタ、方々デ言ウテ居ル、サウデ セウ、ソレト同ジコトナシニス、デスカラ シテ其點ニ付テハ最早問題ガナイト私ハ思 フ</p>
<p>○伊澤多喜男君 勘ダ時間ヲ空費シマシテ 相濟ミマセヌガ、伊澤ハ白ミシイコトヲ申 スト言ハレマスガ、私ハ左様ナコトハ申シ マセヌ、殊ニ若シヤサウ云フ風ニ御考ヘニ ナルナラ、私ノ無智ノ致ス所デアッテ、私ハ 白ミシイコトハ申シテ居リマセヌ、現ニ大 藏大臣モ申サレル通リ之ヲ實行スルコトハ 殆ド不可能ダト思ヒマスカラ、サウ申シタ ノデ、其點ハ謹ンデ陳謝イタシマス、私ハ 伊澤君トハ昔カラ懇意ナモノダカラ、ドウカ シテ、斯ウ云フ席デモ親シイ言葉ヲ使シ テ……私ハ一切委員會ハ懇談的ニヤル所ダ ト思ッテ居ルノデ、時々無遠慮ノ言葉ヲ申シ テ相濟マヌガ、誠ニ其點ハ惡カタト思ヒマ ス、併シソレハ伊澤君ガ長イ間役人ヲシテ 居テ知ッテ居ルノデヤナイカト思ッタモノ</p>
<p>〔「採決」ト呼フ者アリ〕</p> <p>○委員長(伯爵柳澤保惠君) 採決シテ宜シ ウゴザイマスカ、先づ修正案ヨリ採決スル ノガ穩當ト考ヘテ居リマス、宜シウゴザイ マスカ</p>
<p>〔「異議ナシ」ト呼フ者アリ〕</p> <p>○委員長(伯爵柳澤保惠君) 修正案ハ地租 法案、明治四十一年法律第三十七號中改正 法律案、大正十五年法律第二十四號中改正 法律案、此三ツニ付テ、只今水野君ノ申サ レタコトデアリマス、念ノ爲メソレヲモウ 一遍申シマス、水野君ノ御言葉デハ地租法 案ニ於キマシテノ「第十條地租ノ稅率ハ百 分ノ三・八トス但シ宅地ニ在リテハ百分ノ 三・二一トス」、ソレカラ次ガ九十條、附則デ ノデ、其點ハ謹ンデ陳謝イタシマス、私ハ 伊澤君トハ昔カラ懇意ナモノダカラ、ドウカ シテ、斯ウ云フ席デモ親シイ言葉ヲ使シ テ……私ハ一切委員會ハ懇談的ニヤル所ダ ト思ッテ居ルノデ、時々無遠慮ノ言葉ヲ申シ テ相濟マヌガ、誠ニ其點ハ惡カタト思ヒマ ス、併シソレハ伊澤君ガ長イ間役人ヲシテ 居テ知ッテ居ルノデヤナイカト思ッタモノ</p>
<p>〔「採決」ト呼フ者アリ〕</p> <p>○委員長(伯爵柳澤保惠君) 採決シテ宜シ ウゴザイマスカ、先づ修正案ヨリ採決スル ノガ穩當ト考ヘテ居リマス、宜シウゴザイ マスカ</p> <p>〔「宜シウゴザイマス」ト呼フ者アリ〕</p> <p>○委員長(伯爵柳澤保惠君) 印刷ニ間違ヒ ガナケレバ宜シウゴザイマス</p> <p>○委員長(伯爵柳澤保惠君) 此希望決議ハナイヨリ宜シ イト思ヒマスガ、若シ御協議ノ上「依テ政府 ハ」ト云フ所ノ後ノ「近ク」カラ「於テ」マデ…… アリマス、「第九十條本法ハ昭和六年四月一 日ヨリ之ヲ施行ス但シ昭和六年分地租ニ限 リ第十條ノ規定中百分ノ三・八トアルハ宅 地ニ在リテハ百分ノ三・二其ノ他ノ土地ニ 在リテハ百分ノ四」……水野サン、地租ハ アレダケデシタネ……其次ノ明治四十一年 法律第三十七號中改正法律案、此第一頁、</p>
<p>第一條第一號中「宅地租百分ノ三十四其ノ ノ八十二」トアルノガ「百分ノ百」「十一」ト マス、附則ノ第二項ノ所ハ全部削除ニナリ マス、ソレカラ三頁ノ北海道府縣以外ノ 公共團體ニ對スル第四項ノ「四」ガ「三」ニナ リマス、ソレデ宜シウゴザイマスネ、水野 君、今ノ法案ニハ……次ノ大正十五年法律 第二十四號中改正法律案、此六行自賃貸價 格「百分ノ三・一」ガ「百分ノ四・五」ニナリマ ス、其次ノ行デ「百分ノ二・五」ガ「百分ノ三・ 六」ニナリマス、水野サンソレデ宜シウゴザ イマスカ</p> <p>○水野鍊太郎君 宜シウゴザイマス</p> <p>○委員長(伯爵柳澤保惠君) ソレダケノ修 正案ガアリマシテ、御贊成ガアリマシタ、 之ヲ採決イタシマス、水野君ノ修正案ニ御 賛成ノ諸君ニ起立ヲ願ヒマス</p> <p>〔起立者少數〕</p> <p>○委員長(伯爵柳澤保惠君) 少數デアリマ スカ、馬場君ノ……</p> <p>○馬場鍊一君 先程私ハ御手許ニ御配付シ テアッタト有ジテ居リマシテ、希望決議ノ案 文ヲ朗讀イタサナカツタノデアリマスガ、先 程述べマシタ趣旨ヲ約メマスト、只今御手 許ニ差上ゲテアルヤウナ大體文案案ニナリマ スカラ、之ヲ一ツ希望決議トシテ採決ヲ願 ヒタイト思ヒマス</p> <p>○委員長(伯爵柳澤保惠君) 一應馬場君ヨ リ御朗讀ヲ願ヒマス</p> <p>〔「宜シウゴザイマス」ト呼フ者アリ〕</p> <p>○委員長(伯爵柳澤保惠君) 第一デアリマス「近ク開始セ ムトスル稅制ノ調査ニ際シ篤ト攻究審議ヲ 遂ゲ昭和七年度以降ニ於テ」ト云フ字ヲ削 リ下サルコトガ出來レバ我ミハ満腔贊成イ タス譯デアリマスガ、是デモナイヨリ宜シ イト思ヒマスガ、相成ルベクナラ御削リ下</p>

サルコトヲ希望スルノデアリマス、ト申シ  
マスルノハ、大藏大臣ハ實行豫算ト云フモ  
ノヲ屢々御持ヘニナッテ居ルノデ、我ミハ贊  
成シテ居ル所デゴザイマスノデ、若シモ此  
昭和六年度ニ於キマシテモ、尙ホ或ハ一率  
ニ從來上ゲテアル所ノ賃貸價格デ、納稅ノ  
増スヤウナモノニ…負擔ノ増スモノニ付  
テハ一率ニ若干ヲ削ルトカ云フヤウナコト  
ハ、若シ豫算ガ許スナラバ出來得ヤウカト  
思ヒマス、ソレハ出來ナイナラバ致シ方ゴ  
ザイマセヌガ、若シ昭和六年度ニ於テモ豫  
算ノ實行ノ上ニ於キマシテ、賃貸價格ノ調  
査ハ一旦定シテ居ルモノデゴザイマスケレ  
ドモ、一率ニ上シテ居ル所ノモノヲ幾分ニ減  
ラスト云フコトナラ出來ヌコトハナイカト  
私ハ信ズルノデアリマスガ、ソレヲ若シ出  
來ナイナラバ致シ方ナイ、ダカラ兎モ角モ  
此年度ハ御削リ下サタ方ガ筋モ立ツダラ  
ウ、今年ハ高ク納メテ置イテ、來年カラ減  
スト云フコトハ、少シ朝令暮改ノ譏リモア  
ルヤウデアリマスカラ、出來ナイコトヲ私  
ハ政府ニ要求ヲ致シマセヌノデスガ、今ノ  
一行半バカリノモノヲ御削リ下サイマシ  
テ、希望決議トシテ下サルナラバ一層贊成  
ノ意ヲ強クシマスト思ヒマス

○委員長(伯爵柳澤保惠君) 藤田君ノハ第

一ノ四行目ノ「近ク開始セムトスル稅制ノ  
調査ニ際シ篤ト攻究審議ヲ遂ケ昭和七年度  
以降ニ於テ」此文句ヲ削ルコトノ希望ガア  
リマスガ、御贊成ガゴザイマスカ  
○伊澤多喜男君 ドウ云フ風ニ御決議ニナ  
リマスカ、實ハ私ハ希望決議ノ第一項ニ對  
シテハ多少ノ考ハアル、大體先刻モ水野君  
ノ申述ベマシタ通り、條件附ノ決議ト云フ  
モノハ無論出來ナイノデアリマス、條件附  
デハ無論ナカラウト思ヒマス、御決議ノ時  
ハ單ニ地租法案ニ付テ贊成カ反對カト云フ  
コトヲ御決議ニナルト思ヒマス、希望決議  
ハドウ云フコトニ御取扱ヒニナルノデアリ  
マスカ、一應伺ッテ置キマス

○委員長(伯爵柳澤保惠君) 此間豫算委員  
會ニサウ云フコトガゴザイマシタガ、矢張  
リ是ハ本案ヲ報告イタス時ニ、斯様ナ希望  
決議ガ出タ云フコトヲ委員長ハ報告シ  
テ、ソレデ宜シイト思ヒマス

○馬場鎌一君 只今藤田サンノ御希望デア  
リマスルガ、私ハ斯様ナコトハ出來ナイト  
存ジマス、御希望ノヤウナコトハ出來ヌト  
ヲ削ルコトハ私トシテハドウモ致シ兼ネル  
ノデアリマス

レドモ、私ノ大體ノ考ト致シマシテハ、大  
體政府ノ出サレテ居ル所ノ案ガ最モ適當ナ  
リト、斯様ニ考ヘテ居リマス、斯様ナル第  
一項ノ如キ御希望決議ヲスル必要ハナイト  
シテハ多少ノ考ハアル、大體先刻モ水野君  
今ノヤウナコトガゴザイマスルカラシテ私  
ハ自分ノ考ダケラ茲ニ表明シテ置キマス  
私ハ確信シテ居ルノデアリマス、ソレデ只  
ハ單ニ地租法案ニ付テ贊成カ反對カト云フ  
コトヲ御決議ニナルト思ヒマス、希望決議  
ハドウ云フコトニ御取扱ヒニナルノデアリ  
マスカ、一應伺ッテ置キマス

○森田福市君 別々ニ採決ナサルノデセウ  
ニ考ヘテ居リマス、若シ是ガ可決サレタラ、  
可決ノ報告ヲスル時ニ、最後ニ斯様ナ附帶  
決議ガ加ヘラレタト云フコトヲ申ス積リデ  
アリマス

○森田福市君 私ガ御尋ねシテ居ルノハ此  
席ニ於テノ採決ヲ、原案ト此希望決議トハ  
二度ニ御ヤリニナルノデアリマセウカドウカ  
ト云フコトヲ御尋ねシテ居ルノデアリマス  
○委員長(伯爵柳澤保惠君) 一遍デ宜イト  
思ヒマス

○馬場鎌一君 只今藤田サンノ御希望デア  
リマスルガ、私ハ斯様ナコトハ出來ナイト  
存ジマス、御希望ノヤウナコトハ出來ヌト  
ヲ削ルコトハ私トシテハドウモ致シ兼ネル  
ノデアリマス

○森田福市君 ソレハイケマセヌ、豫算委  
員會ノ總會ノ例カラモ、必ズ原案ヲ採決シ  
マス、ソレデハ念ノ爲ニ伺ヒマス、只今申  
サレタ如クニ、希望決議ヲ別ニ採決サレタ  
イト云フ又御希望デアリマスガ、左様ニ計  
テ宜シウゴザイマスカ

〔異議ナシト呼フ者アリ〕

○委員長(伯爵柳澤保惠君) デヤ左様ニ致  
シマス、ソレデハ藤田君ノ此「近ク」ヨリ「於  
テ」ヲ削リタイト云フコトニ御贊成ガナイ  
ヤウデアリマスガ、ゴザイマスカ、ドウモ  
ナイヤウデゴザイマスカラ是ハ成立イタシ

マセヌ、ソレデハ採決シテ宜シウゴザイマスカ

「異議ナシ」ト呼フ者アリ

○委員長(伯爵柳澤保惠君) 然ラバ只今此

附帶決議ヲ別々ニシテト云フ御希望モアリ

マスカラ、先ヅ原案ニ付テ決ヲ採リマス、

原案ニ御異存ゴザイマセヌカ

「異議ナシ」「反対」ト呼フ者アリ

○水野鍊太郎君 原案ヲ採決願フタラドウ

デスカ

○委員長(伯爵柳澤保惠君) 原案ト云フノ

ハ政府案デス

○水野鍊太郎君 地租法案ダケデスカ

○委員長(伯爵柳澤保惠君) 私ハ全部ノ積

リデアリマスガ、分ケテヤリマスカ

〔地租法案ダケニ付テ〕ト呼フ者アリ

○委員長(伯爵柳澤保惠君) 分リマシタ、

ソレデハ先ヅ此地租法案外二件、外二件ハ

御分リニナッテ居リマスカ、是ヲ原案ト申シ

マス、是ニ御賛成ノ諸君ノ起立ヲ願ヒマス

〔起立者多數〕

○委員長(伯爵柳澤保惠君) 多數ト認メマ

ス、可決セラレマシタ、次ニ附帶決議ガゴ

ザイマス、是ハ如何デゴザイマスカ、御賛

成ノ諸君ノ起立ヲ願ヒマセウ

〔起立者……〕

○委員長(伯爵柳澤保惠君) ドウゾ御著席  
ヲ願ヒマス、反対ノ御方ノ御起立ヲ願ヒマス

〔起立者少數〕

○委員長(伯爵柳澤保惠君) 御著席ヲ願ヒ

マス、御出席總數二十四ト認メマス、デ附

帶決議御賛成ノ方ガ十三名、依テ之ヲ議場

ニ報告スルコトニ致シマス

〔拍手起立〕

○委員長(伯爵柳澤保惠君) 馬場君、何カ

御發言ガゴザイマスカ、先キ何カ御通告ガ

アッタヤウニ伺ッテ居リマシタガ、ゴザイマセヌカ

○馬場鍵一君 私ハ別ニゴザイマセヌ

○委員長(伯爵柳澤保惠君) マダ残テ居

リマス、散會ト申シテ居リマセヌ、他ノ五

案ニ付テハ御異議ゴザイマセヌカ

〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ

○委員長(伯爵柳澤保惠君) 御異議ナイト

認メマス、只今總理大臣ヨリ發言ヲ求メラ

レマシタ

○國務大臣(濱口雄幸君) 只今多數ヲ以テ

當委員會ヲ通過イタシマシタ委員長ヨリ本

會議ニ報告ヲサルルト云フコトヲ聲明セラレ

リ致シマス、是デ散會イタシマシテ、午後

緊急ニ上程イタシマスガ、一週間ニ至ル誠

ニ長イ委員會デゴザイマシテ、相當委員長

租法改正ノ結果、宅地租ノ急激ナル増加ニ  
關シマシテハ、來年度ニ實行セムト致シマス  
スル行政財政稅制ノ整理ニ際シマシテ、努

メテ財源ヲ求メテ宅地租激増ノ緩和ニ付キ、  
望ヲ有ツテ居リマス、是ハ希望決議ノ御趣意

ニ副フヤウニ致ス考デアリマス、第二ニ宅  
地租附加稅ノ增加抑制ニ關シマシテハ、政府

ハ御希望ノ趣意ヲ尊重イタシマシテ、地方

財政ノ監督ヲ嚴重ニシ、特ニ都市ニ於ケル

地租附加稅ノ增收ヲ防止スルニ努メル考デ

アリマス、若シ萬已ムヲ得ズシテ之ヲ増徵

スル場合ニ於キマシテモ、成ルベク同時ニ

他ノ國稅附加稅、家屋稅等ヲ輕減イタシマ

シテ、以テ間接ニ出來得ル限り宅地所有者

負擔ノ苦痛ヲ緩和スル考デアリマス、第三

ニ昭和十一年度以前ニ於テ著手スルコトア

ルベキ海軍ノ艦艇補充ニ要スル經費ニ關シ

マシテハ、財政計畫ヲ立ツルニ際シ常ニ最

善ノ注意ヲ拂ヒマシテ、是ガ財源ニ付テ十

分ノ考慮ヲ致ス考デアリマス、一應政府ノ

レマシタ

出席者左ノ如シ

委員長

伯爵柳澤

保惠君

副委員長

男爵阪谷

芳郎君

委員

公爵一條

實孝君

侯爵細川

護立君

子爵大河内

輝耕君

子爵裏松

友光君

水野鍊太郎君

伊澤多喜男君

子爵大久保

立君

子爵小畠大太郎君

男爵黒田

長和君

男爵井上

清純君

片岡

直溫君

藤田

四郎君

報告ガ澤山ゴザイマス、相當デハナイ澤山  
デゴザイマスガ、餘り長ク申上ゲルコトハ  
如何カト思ヒマスカラ、之ヲ整理イタシマ  
シテ二十分位デ報告ヲ終リタイト思ヒマ  
ス、其整理ノ爲ニ少シ時間ガ掛リマスカラ、  
本會ハ二時カラ開カレムコトヲ要求イタシ  
テ居リマス、左様御承知ヲ願ヒマス、散會  
イタシマス

湯地 幸平君	內務書記官 唐澤 俊樹君
馬場 錄一君	內務事務官 安井 英二君
長岡 隆一郎君	大藏政務次官 小川鄉太郎君
後藤 文夫君	大藏書記官 野津高次郎君
木村 清四郎君	專賣局長官 平野 亮平君
大橋 新太郎君	陸軍政務次官 子爵伊東一郎丸君
森 平兵衛君	農林書記官 田淵 敬治君
尾崎 元次郎君	同 荷見 安君
濱口 儀兵衛君	商工書記官 長崎榮十郎君
田中 一馬君	遞信政務次官 中村啓次郎君
小林 暢君	遞信省經理局長 大橋 八郎君
森田 福市君	拓務省殖產局長 殖田 俊吉君
國務大臣	
内閣總理大臣 濱口 雄幸君	
司法大臣 子爵渡邊 千冬君	
大藏大臣 井上準之助君	
内務大臣 安達 謙藏君	
農林大臣 口田 忠治君	
拓務大臣 松田 源治君	
遞信大臣 小泉又次郎君	
海軍大臣 男爵安保 清種君	
政府委員	
内閣書記官長 鈴木富士彌君	
法制局長官 川崎 卓吉君	
法制局參事官 黒崎 定三君	
内務省地方局長 次田大三郎君	